

調査研究視察報告書

会派名 自民清風会
代表者名 小野政明 ⑩
視察者氏名 小野政明 ⑩ 清水 勇 ⑩
柴田 泉 ⑩ 中根義金 ⑩
蜂須賀喜久好 ⑩ 鈴木雅登 ⑩

1 視察日	平成18年10月5日（金）
2 視察先	愛知環状鉄道
3 視察項目	岡崎-豊田間の鉄道輸送力増強について
4 視察項目の概要	<p>特に朝の通勤ラッシュ時における248号線沿線の道路渋滞には深刻な実態があります。ところで岡崎を東西に走る大動脈は名鉄と国道1号線です。そして南北に走る大動脈は愛知環状鉄道と国道248号線です。</p> <p>しかし、岡崎-豊田間に関しては鉄道ではなく自動車に利用が片寄っており、大変な渋滞を引き起こす原因となっています。</p> <p>そこで248号線の渋滞を緩和するには愛環鉄道の活用を促すことが必要です。従って今回の視察の目的は愛環鉄道の活用促進に際して何が必要とされているのかを探求することです。</p>
5 所感等	<p>愛環鉄道の利用者は年々増加の傾向を示しています。特に万博を見に行く際の足としての愛環鉄道の利用がたくさんあったことで、市民へのアピール度の高まりを背景として18年の1日の乗客数は約33000人となっています。</p> <p>万博前は1時間当たり3本であった輸送力に関して、万博に向け、輸送力整備事業を実施したことにより、朝・夕方には4両編成車両を1時間当たり4本運転できるように改善したとのことでしたので、次の輸送力増強の為の課題は自宅から愛環各駅までの利便性の向上課題であります。そして、具体的には駅の駐輪場や循環バスの路線整備に関する課題です。</p>